

令和4年度 キャリア教育に関わる高校生意識調査

- ・高校生対象の調査は平成27年度以降実施していなかったが、令和4年12月に南信州8高校の全校生徒対象に実施した。
- ・質問1については、全国学力・学習状況調査の質問項目にはないため、令和4年12月に市内小6年・中3年と南信州8高校において実施した。
- ・質問2,3については、小・中学生対象に実施している全国学力・学習状況調査の質問項目を、高校生の発達段階に応じた内容にするために、市内高等学校長と検討して決め出した。
- ・回答方法は県が行う高校生対象に実施する「学びの指標」に合わせて5つとした。
①当てはまる ②どちらかといえば当てはまる ③どちらかといえば当てはまらない ④当てはまらない ⑤回答できない・回答したくない

問1 ふるさと(自分の生活している地域)に対して愛着を感じていますか。

	①	②	③	④	⑤
市高	34.2	47.2	10.9	4.3	3.4
	81.4		15.2		3.4
8高	34.5	46.5	10.8	4.6	3.6
	81.0		15.4		3.6
H27 高	28.3	46.7	1.4	0	23.6
	75.0		1.4		23.6

*平成27年度は郡内高校の各学年1学級ずつを任意抽出調査

参考:「ふるさと(自分の生活している地域)に対して愛着(好きな気持ち)を感じていますか。

	①	②	③	④	⑤
市小6	52.1	32.3	5.3	1.9	8.4
	84.4		7.2		8.4
市中3	39.2	36.9	7.9	4.7	11.3
	76.1		12.6		11.3

問2 地域(社会)をよりよくするために、地域課題の解決に関わりたいと思いますか。

	①	②	③	④	⑤
市高	14.6	47.4	23.8	9.0	5.2
	62.0		32.8		5.2
8校	14.2	48.2	24.0	8.5	5.1
	62.4		32.5		5.1

参考:「地域や社会をよくするために考えることがある割合」(令和4年5月実施 全国学力・学習状況調査)

	R1	R3	R4
市小6	55.9	52.6	52.3
県/全国	57.0/54.5	57.1/52.4	56.5/51.3
市中3	40.0	48.4	39.0
県/全国	43.9/39.4	49.2/43.8	46.0/40.7

*「思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合

問3 地域(社会)と自分のつながりや関係を意識しながら、自分の将来について考えることがありますか。

	①	②	③	④	⑤
市高	14.7	38.0	28.4	14.6	4.3
	52.7		43.0		4.3
8校	14.9	38.5	28.3	14.0	4.3
	53.4		42.3		4.3

*市高:市中学校卒業、*8高:南信州8高校の全校生徒

参考:「人の役に立つ人間になりたいと思う割合」

(令和4年5月実施 全国学力・学習状況調査)

	R1	R3	R4
市小6	95.5	95.8	95.3
県/全国	95.3/95.2	95.9/95.5	95.6/95.1
市中3	95.0	96.5	94.9
県/全国	94.8/94.3	95.4/95.0	95.3/95.0

*「思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合

考察

- 問1から、高校生のふるさとに対する愛着は、平成27年度の調査と比較して高まってきている。これは、小・中学校において、地域の人・もの・ことに触れる学び等を行ってきたことや、高校において地域と関わる活動による成果ではないかと感じる。
- 問2から、地域課題の解決に関わろうと思う高校生は6割以上となった。中学生より、高校生の方が地域に関わろうとする意識が高くなっている。
- 問3から、地域を意識して将来を考える割合は5割程度である。国・県等で同様な調査がなく比較できないが、キャリア教育の願いでもある「地域の担い手」や、外からでも「地域を支える人づくり」につながる指標であり、さらに高めていきたい。
- 全ての質問で高校3年生の肯定的な割合が高くなっている。このことから、3年生になるとより地域を意識していることが伺える。

参考	問1	問2	問3
市高全年	81.4	62.0	52.7
市高3年	82.3	63.4	58.6